

第7回水文・水資源学会セミナー

「水文・水資源に関わるフリーソフトウェアの講習～IFAS, iRIC～」

水文・水資源学会では、水文・水資源分野の研究成果をフリーソフトを通して幅広く普及することで実務へのアウトリーチや新たな研究の展開を促すことを目的とし、標記のセミナーを実施します。セミナーでは座学だけでなく、コンピューターを用いた演習形式の講習も予定しています。奮ってご参加いただきますようご案内申し上げます。

- 主催：一般社団法人 水文・水資源学会
共催：国立大学法人 室蘭工業大学
- 日時：2014年7月11日（金）
9:30～16:30（受付9:00～）
- 会場：室蘭工業大学東京サテライトオフィス
（東京都渋谷区神宮前5-52-2 青山オーバルビル15F）
- 定員：50名 ※先着順
- 参加費：学会員⇒（正会員）8,000円
（学生会員）6,000円
非学会員⇒（一般・学生）12,000円

※参加費は当日会場でお支払い下さい。
※当日欠席した場合でも参加費のお振込みをしていただきます。欠席者には後日、講習会のビデオ映像やテキストを発送させていただきます。

◆参加申込み方法◆

6月23日（月）までに、下記URLのフォームからお申込み下さい。

[セミナー申込フォーム URL]

https://bunken.org/jshw/seminar7/seminar_application/

※受付後受領メールを返信します。メールが届かない場合は受付されていない可能性があるためセミナー事務局までお問い合わせ下さい。

◆留意事項◆

各自パソコンをご準備いただきますようお願いいたします。

当日はオフライン環境での講習会を予定しています。事前に「IFAS」「iRIC」のソフトウェアをインストールしておいて下さい。なお、最新バージョンのインストーラー・マニュアルが準備でき次第、申込フォームにご記入いただいたメールアドレスに案内の連絡をさせていただきます。

<推奨スペック>

- ・CPU: Intel Core i3 相当以上
- ・メインメモリ: 2GB 以上
- ・グラフィックチップ: nVIDIA 製 or Intel 製
- ・HDD 空き容量: 10GB 以上
- ・DVD-ROM ドライブ

<推奨 OS>

- ・Windows Vista Service Pack 2
- ・Windows 7 Service Pack 1

◆お問い合わせ先◆

セミナー事務局：中村要介（三井共同建設コンサルタント株式会社）
連絡先(E-mail)：y_nakamura@mccnet.co.jp



室蘭工業大学・東京オフィス青山

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-52-2 青山オーバルビル15F NASICプラザ内

☎03-5466-1200 (NASIC社へ呼出し→顧問・町田=直通 ☎090-4434-3726)

東京メトロ表参道駅(B2出口)から青山通り(渋谷方向)400m

JR渋谷駅(東口)から宮益坂を経て青山通り(表参道方向)710m

★セミナープログラム概要★ 2014年7月11日(金)

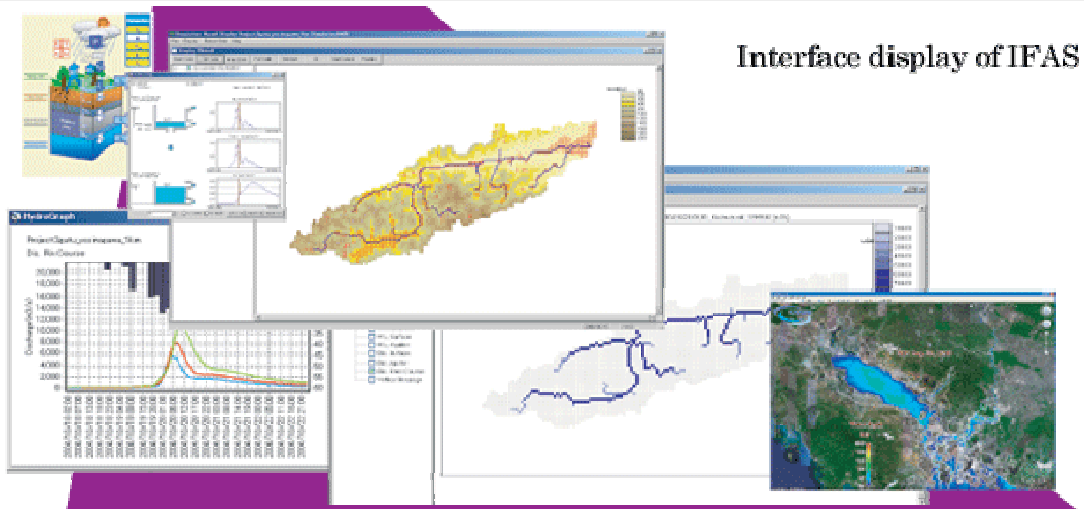
9:00 ~ 受付開始

9:30 ~ 12:30 午前の部：IFAS(Integrated Flood Analysis System)の紹介と講習

講師：土木研究所 ICHARM・岩見上席研究員ほか

IFAS (Integrated Flood Analysis System) とは；

(独) 土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター(ICHARM)らによって開発された水文情報の乏しい地域において、迅速かつ効率的に洪水予警報システムの構築が可能となるよう、地上雨量計情報に加えて人工衛星によって観測された降雨情報を活用した洪水予測システム。当日は国内河川への適用事例に関する講習を予定しています。



Interface display of IFAS

図 IFAS のインターフェース例

12:30 ~ 13:30 昼食休憩

13:30 ~ 16:30 午後の部：iRIC(International River Interface Cooperative)の紹介と講習

講師：北海道大学・清水教授、土木研究所寒地土木研究所・柿沼総括研究員ほか

iRIC (International River Interface Cooperative) とは；

無料 (パブリックドメイン) で配布される河川の流れ、流砂、河床変動、さらには生態系の挙動をも計算するためのユーザインターフェース、およびこれに関連するソルバー群からなる。開発主体は国内外の大学や研究機関であり、当日は北海道大学及び寒地土木研究所が開発・改良したソルバー「Nays2D Flood」を用いた河川氾濫計算の講習を予定しています。

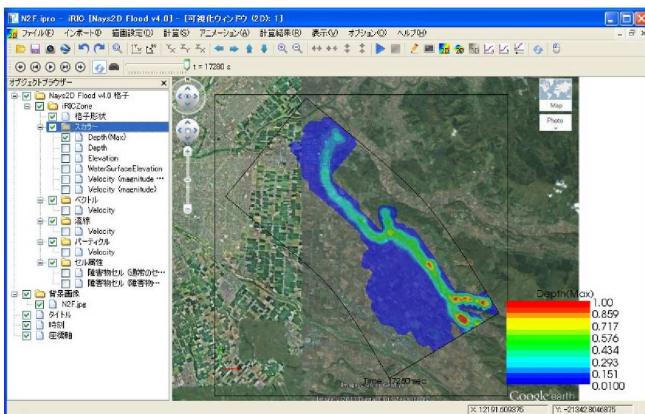


図 Nays2D Flood の浸水深の可視化例

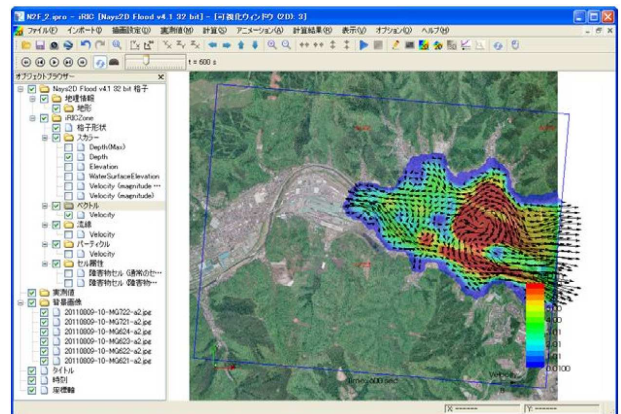


図 Nays2D Flood の流速分布の可視化例

～以上～